

ピロリ菌検査・治療のご案内

当クリニックでは、**萎縮性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胃腫瘍（悪性リンパ腫・胃癌）**の原因として注目されているピロリ菌感染に対して積極的に検査・治療を行っております。

ピロリ菌検査は、採血（抗体検査）、尿素呼気試験、胃内視鏡検査（内視鏡所見・顕微鏡所見）などによりおこなっております。

全日本人の約50%はピロリ菌感染があり、特に癌年齢層の50歳以上の方は70 - 80%がピロリ菌感染者です。

従来は飲料水などからの感染者が大半でしたが、現在は乳児期に離乳食などから経口感染（大半が両親や祖父母からの感染）する方が大部分といわれております。

若年者の方で胃腸の症状が強い方には、ピロリ菌検査をお勧めいたします。採血による抗体検査は随時、受け付けております。

ピロリ菌感染者の方には、**2種類の抗生剤と強力な胃薬を用いた除菌療法**をお勧めしております。当院では、**原則として胃内視鏡検査**を行い、消化性潰瘍などの胃・十二指腸の病気のある方に対して除菌療法を行っております。

岡部クリニック
院長 岡部 聡